

奄美群島の概況

平成23年度



 鹿児島県大島支庁

◇表紙写真◇

〔与論十五夜踊 450 周年記念式典・十五夜踊鑑賞会〕

与論十五夜踊り（国指定重要無形民俗文化財）は、旧暦の 8 月・10 月・3 月の 15 日に与論城（グスク）にある地主神社（琴平神社）で行われ、五穀豊穰・嶋中安穏を祈願して奉納されます。

1 番組が大和風，2 番組が琉球風で交互に演じられる踊りは，前者の勇壮さと後者の優雅さが対照的で日琉の文化が一体となった踊りです。

永禄 4 年（1561 年）に始まったと伝わっており，平成 23 年で 450 周年を迎えるにあたり，与論十五夜踊りの歴史背景や継承の過程及び文化的価値を検証し，今後の伝承を通して島の活性化にも繋げるために平成 23 年 9 月 11・12 日にシンポジウム・記念式典・祝賀会，同年 11 月 9・10 日に「祭りと祈りと出合いを語る集い」などの記念事業が実施されました。

写真提供 与論町